

# みなとぴあボランティアレター 第39号

新潟市歴史博物館 みなとぴあ／2019.8

2019年度の活動がスタートしました！

## 4/7 ボランティア総会

2019年度がはじまりました。今年は年号が「平成」から「令和」と変わり、例年よりも気持ちが引き締まる感じがしますね。

さて、今年度もボランティア総会を行い、35名の方にご参加いただきました。最初に、小林副館長からご挨拶をいただき、その後新規ボランティアさんをご紹介させていただきました。今年の新規ボランティアさんは15名。多くのボランティアさんにご加入いただき、うれしい限りです。そのうち、5名の方にご出席いただき、ご紹介及び名札の贈呈を行わせていただきました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします！

総会では、昨年度の活動の振り返りや今年度の活動予定の紹介をさせていただきました。昨年度の活動実績の報告をさせていただいた際、ガイドの活動回数は2017年度よりも増加しているとの報告をさせていただきました。日々、多くのボランティアさんに積極的にご参加いただけていると思うと、本当に感謝です。また、日誌にご記入いただいた感想をみても、来館者とのコミュニケーションの楽しさやガイドをする面白さなどがうかがえ、充実したガイドができているとも感じました。このような日々の活動を振り返る場が、今後の活力となっていただければ幸いです。

そして、今年度の活動のご紹介。今年度も多くの方からアンケートでご意見をいただき、様々な活動案が上がりました。例年に引き続き、歴史探訪やクイズラリー、また今年は旧税関庁舎が公開されたので久しぶりに写生会も開催する予定です。そして、開港150年ということで定期塔屋見学会も行っていきたいと思っています。是非、このようなイベントにもご参加ください。



**新規ボランティアさんのなかには、中学生・高校生の方も！  
世代間交流も楽しみながら、活動していただけたいと思っています。**

## 4/7 懇親会

総会の後は、毎年恒例の懇親会を開催しました。今回は、新潟駅万代口近くにある「宴丸」さんで行いました。最初に、伊東館長からご挨拶をいただき、その後乾杯の音頭をとっていただきました。

総会后ということもあり、今年度の活動のことなどの話題で盛り上がる場面も。また、新規ボランティアさん2名にご参加いただいたということもあり、改めて在籍しているボランティアさんと職員も含め、自己紹介を行いました。新規ボランティアさんはもちろん、在籍しているボランティアさんのことも知ることができた良い機会だったように思います。

最後は、小林副館長のお言葉をいただき、御開きとなりました。今年も暑気払いや新年会といった楽しくお酒やご飯を食べる機会がありますので、是非ご参加ください。



## 4/13 みなとびあ春の税関まつり

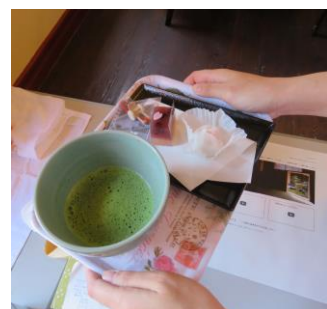
4月13日（土）に、「みなとびあ春の税関まつり」（ボランティアフェスティバル）を行いました。桜の時期の開催、また企画展初日ということもあり、大人から子供まで多くのお客様にご来場いただくことができました。また、今回は新潟税関支署さんにご協力いただき、麻薬探知犬のデモンストレーションや監視艇「つばさ」の一般公開などの催しを行っていただき、賑やかなイベントになりました。



ボランティアでは、敷地スタンプラリー・塔屋見学会・旧税関カフェ・体験プログラムと多くの催しを行いました。敷地スタンプラリーでは、旧税関庁舎・荷上げ場・石庫の3つをポイントに行いました。荷上げ場では、開港当時の姿を再現するために船を浮かべ、その近くに米俵を置いたり、石庫でも室中を公開するなど各所にボランティアさんが考えた工夫が見受けられました。ご参加いただいた人も、皆さん笑顔で楽しんで下さった様子でした。塔屋見学会にも、多くのお客さんにお越しい

ただきました。特に、塔屋からの満開の桜は見応えがあり、写真を撮っていかれる方も多くいらっしゃいました。

旧税関カフェは初めての試みということもあり、幹事さんと長期間にわたり準備を行ってきた企画です。旧税関庁舎内でカフェを開店し、お菓子とお茶のセットなどを提供しました。セットメニューのお菓子は、今回のためにお菓子屋さん





に特別に旧税関庁舎をイメージしてつくってもらいました。また、ボランティアの加藤厚司さんがつくってくださったストラップがついてくるということもあり、多くの方にご購入いただきました。開店から2時間ほどで半分のメニューが売り切れてしまい、うれしい限りでした。

体験プログラムでは、兜づくり・桜の折り紙・砂絵・布絵の4つを行いました。どのプログラムにも多くの方にご参加いただき、特に午前中は入口に靴が入りきれないほどになることも。プログラムの内、布絵はボランティアの江口さんが発案してくださった企画で、今回初めて行いました。参加してくださった方は、様々な布をつけてオリジナルな旧税関庁舎をつくっていました。



この他に、ボランティア荒木さんの企画で午後には新潟市民謡連盟様による佐渡おけさの公演も行いました。見に来て下さったお客さんも手拍子をしてくださり、会場に一体感が生まれたような気がしました。佐渡汽船乗り場を背景に、佐渡おけさをみるというのも良かったです。民謡連盟の事務局として司会進行をしてくださったのは、なんと今年からボランティアに加入して下さった小野塚さんでした！ありがとうございました。

今回は企画数も多く、また初めての試みがあったため、幹事さん他参加して下さった皆さんには大変なご苦勞をお掛けしてしまいました。しかし、その分充実感や達成感があったのではないかと思います。また、税関支署さんとの共同イベントということで、現在の税関業務のことも学べる良い機会にもなり、良かったです。今回の良かった点や反省点をもとに、来年も多くの方に楽しんでいただけるようなフェスティバルをボランティアの皆さんと作り上げていけたらと思っています。



**ご協力いただいた皆さま、  
ありがとうございました！**

## 7/15 ステップアップ研修

本年、文化庁博物館クラスター形成支援事業として「みんなの古町プロジェクト」を行います。このプロジェクトは、古町地区の移り変わりを講演会やワークショップなどを通じて、市民とともに古町の歴史を掘り起こすプロジェクトとなっております。今年、このプロジェクトをステップアップ研修として位置づけており、そのキックオフイベントとして、「古町の歩み～誕生と発展、その役割の移り変わり～」と題した講演会を開催しました。古町を中心に、町の性格が時代とともにどのように変化してきたのかについて伊東館長が講演してくださり、古町や新潟の魅力などを再確認できる機会になったのではないのでしょうか。今後も、さまざまなイベントを実施する予定ですので、是非ご参加ください。

## 7/20 塔屋見学会

7月20日（日）に塔屋見学会を開催しました。今回の企画は、開港150周年にあわせて、定期的に塔屋を公開し、多くの方にみなとまち新潟を知っていただけたらという趣旨で開催したものです。総会や定例会で様々なご意見をいただき、今回が初回でした。

当日は、ボランティア10名と職員で行いました。あいにくの雨天に加え、湿度もかなり高かったため、お客さんが来ないのではと危惧しましたが、2時間で約60名の方にお越しいただきました。その半数は、長岡で建築を学んでいる学生さんであったため、歴史的な部分だけでなく、建築的な部分を重点的に説明するなどの工夫を行いました。

今後は、1か月に1回の割合で行うことができればと思っております。是非、ご参加ください。

## 職員のご紹介



### 学芸課 資料整理担当

ぐみさわ あつこ  
楳沢 厚子

東京都文京区出身

昨年12月より資料整理係として文書や民具等の整理業務に携わっています。収蔵庫の膨大な資料に直に触れながら、過去の人々の残したものに感じ入り、驚き、学びに満ちた時間を過ごさせていただいております。9歳、1歳の2児の子育てに奮闘中ですが、お陰様で博物館の静かな環境でのバランスを保っています。なかなかお会いする機会は少ないですが、どうぞ宜しくお願いいたします。

### 【編集後記】

今回は、2019年度前期の活動を写真盛りだくさんで紹介しました。本音を言うと、掲載したい写真がもっとあったのですが、紙面の関係で載せきれず…。今年はイベントが多く、紹介しきれない部分もあるかもしれませんが、なるべく多くのイベントを取り上げていきたいと思っております！（鈴木）

2019. 6. 25 現在

みなとびあ歴史発見プロジェクトは、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、開港150周年を迎えた新潟の街をみんなで盛り上げていこう！という事業です。

「みなとびあ歴史発見プロジェクト」は、下記の地域の企業・団体みなさんからご協賛をいただいております。

